

平成28年度寿楽荘事業報告・決算報告（抜粋）

総括

今年度は、介護人材難、介護報酬減、待機者減という問題点を抱えながらの非常に厳しい年度であり、社会福祉法人制度改正への準備、6月よりの給食直営方式への移行と例年にはない業務に追われた年度でした。慢性化しつつある介護・看護職員不足については、従来どおりの介護職員を中心とした処遇改善を推進（改善手当の見直し、期末手当の支給、ストレスチェック制度の導入）、資格取得支援強化（介護福祉士3名増、キャリア段位制度アセッサ―2名増・内部評価者2名）、専門職の育成等について力を注ぎ、安心して働ける環境作りを進め着実に成果をあげているところであり、再雇用者の処遇改善と並行して継続し組織体制の整備に努めていきます。

稼働率については、待機者が著しく減少している中、目標値、本体施設98%、ショート100%に対し、施設93.0%、ショート114.9%の結果となり、施設については昨年比1.3%減、ショートについては9.1%減の実績となり、財政面においても、待機者の大幅減少、日常生活継続支援加算の要件である平均要介護度の維持等、非常に難しい状況が続いており、今後の大きな課題となっています。

また、第三者評価の利用者・ご家族の意見、施設内の懇談会の意見等を業務に反映できるよう各種会議、各委員会を通じ徹底を図りました。さらには、創立時よりの理念・目標の周知を図り、協調性と信頼感を育むべく新任・現任研修の充実・強化に向け取り組んでいるところです。

給食の直営方式の再開については、準備期間も短く、スタッフの雇用も思うように進まず、厳しい条件の中でのスタートとなってしまいました。年度末においては人員、労働条件、献立の内容等委託時を上回る環境整備が整ったところであり、今後の更なる充実に向け努めて行きます。

なお、各部門については以下のとおり実施しました。

※ 詳細は事業報告書をご一読ください。

財産目録		平成29年3月31日
資産・負債の内訳		寿楽荘
I	資産の部	***
1.	流動資産	***
	流動資産合計	406,977,041
2.	固定資産	***
	固定資産合計	1,420,386,797
	資産合計	1,827,363,838
II	負債の部	***
1.	流動負債	***
	流動負債合計	75,738,599
2.	固定負債	***
	固定負債合計	133,800,028
	負債合計	209,538,627
	差引純資産	1,617,825,211

拠点区分貸借対照表			平成29年3月31日
			寿楽荘会計
		借方	貸方
流動資産	406,977,041		
固定資産	1,420,386,797		
資産の部合計	1,827,363,838		
流動負債		75,738,599	
固定負債		133,800,028	
負債の部合計		209,538,627	
基本金		62,081,323	
国庫補助金等特別積立金		742,809,484	
その他の積立金等		0	
次期繰越活動収支差額		812,934,404	
純財産の部		1,617,825,211	
負債・純財産の部合計		1,827,363,838	

拠点区分資金収支計算書			平成29年3月31日
(自)平成28年4月1日 (至)平成29年3月31日			寿楽荘会計
勘定科目		寿楽荘会計	
決算の状況	事業活動	事業活動収入計①	824,430,866
		事業活動支出計②	796,011,674
		事業活動資金収支差額③ (①-②)	28,419,192
	施設整備	施設整備等収入計④	1,440,000
		施設整備等支出計⑤	48,996,940
		施設整備等資金収支差額⑥ (④-⑤)	-47,556,940
	その他の活動	その他の活動収入計⑦	27,505,820
		その他の活動支出計⑧	6,357,059
		その他の活動資金収支差額⑨ (⑦-⑧)	21,148,761
		予備費 (⑩)	0
	当期資金収支差額合計⑪=③+⑥+⑨-⑩		2,011,013
前期末支払資金残高⑫		362,921,017	
当期末支払資金残高⑬ (⑪+⑫)		364,932,030	

※ 会計方式は平成24年6月に「新会計基準」へ移行しています。また、監査報告書はHPでご確認ください。